

令和元年度 家庭の教育力に関する調査結果

～令和2年3月実施～

・・・デジタル機器の所持と利用についての実態・・・

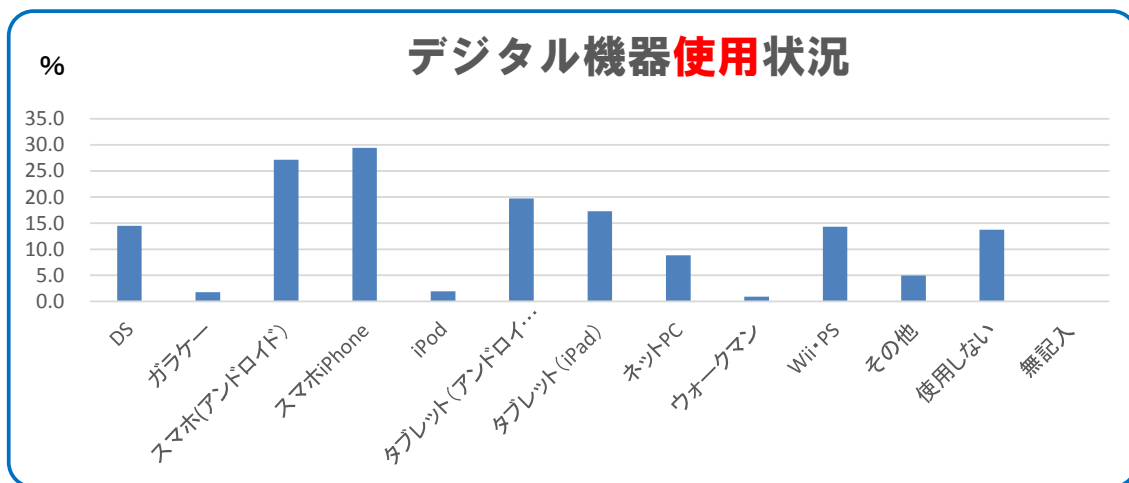
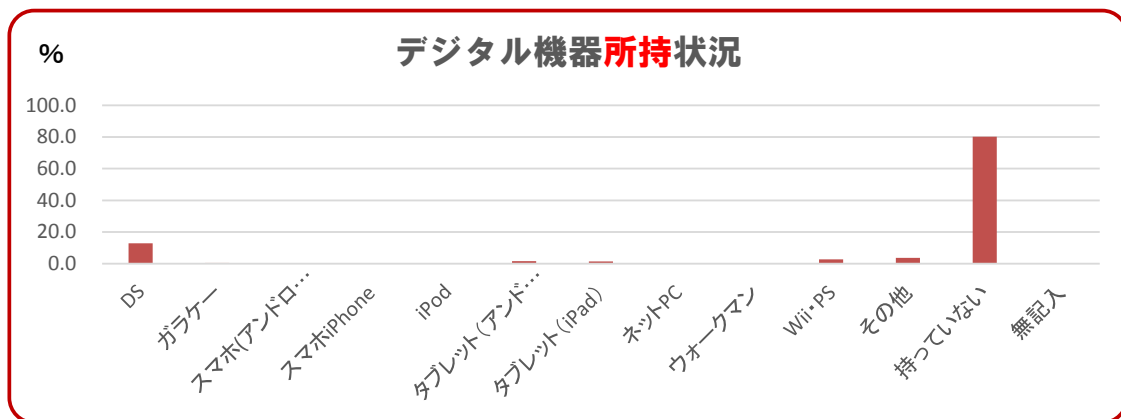
市内の保育園・幼稚園に在席する年長児の保護者を対象に、右の項目について調査を実施しました。

43園、約81%の保護者から回答が届き、以下のような結果となりました。

<調査項目>

- 1 お子さんはデジタル機器を使用していますか。
- 2 お子さんの持っているデジタル機器とお子さんが使用しているデジタル機器について所持と使用
 - 【1】ポータブルゲーム機（DSシリーズ、PSP）
 - 【2】スマートフォン（アンドロイド系）
 - 【3】スマートフォン（iPhone）
 - 【4】iPod touch
 - 【5】タブレット（アンドロイド系）
 - 【6】タブレット（iPad）
 - 【7】インターネットと接続しているパソコン
 - 【8】ミュージックプレイヤー
 - 【9】据置型ゲーム機（will PS等）
 - 【10】その他
- 3 平日と休日のデジタル機器の使用時間

デジタル機器を使用している子ども 86.0% デジタル機器を使用していない子ども 13.8% 無回答 0.2%



デジタル機器を使用している子どもの使用時間平均 平日 約 34分 休日 約 73分
 ※昨年度のデジタル機器を使用している子どもの使用時間平均 平日 約 33分 休日 約 70分

★ 回答結果から ★

- ① デジタル機器について、平日はほとんど使用しないが、休日になるとルールを決めても長くなる傾向がある。
- ② 園の働きかけによって、デジタル機器の使用時間の差が大きい。
- ③ 子ども専用のゲーム機やパソコンなどの所持率は低く、保護者のスマートフォンやタブレットを借りて使用する子が多い。
- ④ デジタル機器の使用ルールを決めている家庭が多いが、夢中になるとなかなかルールを守れなくなる様子が見えたりする。親が教えていないことも親が知らないうちに覚えることがたくさんあり、不適切なサイトや動画を見ないか心配も多い。
- ⑤ 幼児期からブルーライトを浴びることによる視力や脳への影響が心配である。
- ⑥ これからの時代デジタル機器の使用に慣れる必要があると思うが、自分で考える前になんでも検索してすぐ答えを出そうとするので、「考える力」が弱くなるのではないかと心配。
- ⑦ デジタル機器の使用のよさ
 - ・ ゲームの中で、文字や数に興味を持ち、文字の読み書きや簡単な計算ができるようになった。
 - ・ デジタル機器を上手に使うと、姉妹と一緒に歌ったり踊ったりして楽しく遊べる。
 - ・ 動画を見て、工作のヒントをもらい、自分もやってみたいと思うことを見つけて生活につなげることができる。
 - ・ 家族と同じものを見るのは、共通の話題となりコミュニケーションにつながっている。
 - ・ 病院等の騒いではいけない場所や待ち時間が長い場合に使用するととても助かる。
 - ・ 歯磨きの際に音楽を流すと、音楽に合わせて丁寧にしてくれる。使い方が大事だと思う。
 - ・ 様々な話題を知り、興味・関心を持つことができる。
 - ・ ルールを守ること、我慢することなどを学ぶ機会になっている。
- ⑧ デジタル機器の使用についての心配や困り感
 - ・ 家族で、ルールを決めているが、夢中になると忘れてしまうところ。
 - ・ 親が教えていないことも覚え、勝手に使用していたことがあり、とても驚いた。使用についてコントロールできているか考えるとできていないように思う。
 - ・ YouTubeで汚い言葉や使わせたくない言葉を覚えてしまうことが困る。
 - ・ ゲームをするようになってから怒りっぽくなった。YouTubeなどで悪い言葉を覚えた。ゲーム以外に興味を持たなくなった。しかし、ゲームをやめたら改善した。
 - ・ どのくらいの頻度でデジタル機器を使用するのが適正範囲なのか悩む。
 - ・ 親とは約束をしているが、祖父母など家族みんなで共有できていないため、親がいないところでは使いたい放題になっているのが課題。